

## 第1回高校生中国語発表会全国大会要項

- 1 目的 (1) 全国の高等学校で中国語を学ぶ生徒のさらなる励みとするため。  
(2) 統一した基準を導入することにより、各支部の中国語発表大会のレベルアップや審査の客観化を図るため。
  - 2 主催 高等学校中国語教育研究会
  - 3 後援(予定) 文部科学省・愛知県教育委員会・公益財団法人 国際文化フォーラム  
駐名古屋中華人民共和国総領事館・中国語教育学会・一般財団法人 日本中国語検定協会
  - 4 日時 平成28年2月11日(祝) 9:00～
  - 5 場所 愛知大学・笹島校舎
  - 6 形式 各支部で撮影された支部発表大会のDVD映像による審査
  - 7 審査部門 朗読部門・弁論部門
- ※これ以外の部門を各支部で設けても良いが、本要項の規定に合わせた部門の最優秀者のみを審査対象とする。
- 8 参加資格 ※支部大会においてもこの参加資格で実施するものとする。
    - ①各部門に共通する資格  
原則として高中研の学校会員である高等学校の生徒、もしくは個人会員の教師が指導する高等学校の生徒とする(※非会員の教師が指導する高等学校の生徒が代表となる場合には入会を促すものとする。)
      - (1) 高校で中国語科目を履修する、またはクラブ活動等で中国語を学ぶ生徒。
      - (2) 中国語を母語とする国や地域に9ヶ月以上在住した経験がなく、また日常的に中国語を用いた経験のない生徒。
    - ②部門毎の参加資格  
朗読部門 ・学習歴が本年度の履修単位数を含めて5単位以下であること  
弁論部門 ・特別な制限をもうけない
  - 9 参加費 500円 ※各支部の参加費とは別にエントリー料を徴収する。
  - 10 その他
    - ① 朗読部門の課題文は、各支部大会で統一した課題文を使用  
(上限300字で7月末までにピンインをつけたものを関東支部が作成し、HPに掲示)
    - ② 弁論部門のスピーチ原稿については、次の条件に当てはまるものであること。
      - (1) 3分以内であること
      - (2) 暗唱であること
      - (3) 自作であること
      - (4) 未発表であること
- ※なお、質疑応答については、各支部で行う場合、従来通り各支部の審査基準の含めてもよいが、全国大会

での審査には含まない。

- 11 審査基準 朗読部門 発音・声調・流暢さ・表現力  
弁論部門 発音・声調・流暢さ・表現力・内容

- 12 表彰 朗読, 弁論 各1名  
景品は5千円分の図書券を進呈